

国際講演会 International Lecture

吉備国際大学大学院 社会福祉学研究科

2018年5月19日(土) 岡山駅前キャンパス

「東アジアにおける少子高齢化と社会福祉

－『家族主義』を越えて－

東京経済大学経済学部 准教授 李 蓮花 氏

[要旨]

中国や韓国、台湾など東アジアの高齢化率は現時点では日本のほぼ半分程度であるが、日本以上に速いスピードで少子化・高齢化が進んでいる。一方、長年にわたり、社会福祉よりも経済成長を重視してきたため、人々の暮らしを支える社会的な制度、仕組みの整備は遅れている。世界的にも例外的な「超」低出生率とこれからの高齢化の「津波」に対して、東アジアはどう対応しようとするのか。そのなかで従来の「家族主義」はどう変わるのだろうか。

講演では、東アジアと欧米の人口動態の変遷を比較検討し、少子高齢化の進行の速さを再確認することを出発点として、高齢者介護と子育てにおけるケアの特徴を明らかにした。東アジアでの「ケアの社会化」の課題について、福祉レジーム論と関連付けて家族主義の持続可能性と限界に言及した。家族によるケア(インフォーマルケア)は社会的な支援制度の整備があってこそ良いケアの実現に資する、つまり、ケア労働を家族のみの責務とすることではなく、家族を支える社会制度の整備が東アジアでも急務であることを指摘した。